

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	建築生産小委員会	主 査 名：戸倉健太郎 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：安藤正雄 主 査 名：
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築生産に関する技術・技能上、仕組み制度上の諸問題を研究・議論 ・ 建築生産シンポジウム、建築生産セミナー等開催の企画・運営 ・ 今年度活動計画 7 月 建築生産シンポジウム開催 11 月 建築生産セミナー開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 戸倉健太郎 (主査、三井住友建設)、浦江真人 (東洋大学)、木本健二 (芝浦工業大学)、吉田敏 (産業技術大学院大学)、姉崎哲朗 (大林組)、安藤正雄 (千葉大学)、金森茂 (元恵比寿ガーデンプレイス)、蟹澤宏剛 (芝浦工業大学)、嘉納成男 (早稲田大学)、斎藤隆司 (日本郵政)、佐々木晴夫 (大成建設)、曾我行雄 (フジタ)、多葉井宏 (竹中工務店)、平沢岳人 (千葉大学)、平野吉信 (広島大学)、古阪秀三 (京都大学)、持田泰秀 (石川工専)、山越広志 (鹿島建設)、山崎雄介 (清水建設)、山本英雄 (大成建設)、吾川正明 (京都大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築技術調査WG：建築生産の最新技術に関する情報収集、分析を行い、小委員会のテーマに反映させることを目的として設置。	
2012 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/seisan/

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 28 回建築生産シンポジウム (7/26、27 京都大学) 参加者数 94 名 (資料名)「第 28 回建築生産シンポジウム論文集」 2. シンポジウム「建築プロジェクトにおける発注者像とその評価」 (11/2 建築会館会議室)参加者 21 名 (資料名)シンポジウム「建築プロジェクトにおける発注者像とその評価」 3. 2012 年度建築生産セミナー「グローバル時代に生きる日本の建築技術」 (11/16 建築会館会議室) 参加者数 24 名 (資料名)2012 年度建築生産セミナー「グローバル時代に生きる日本の建築技術」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築生産シンポジウム：建築生産の様々な分野の研究者・実務者からの最新の研究成果、事例報告の発表を通じて情報交換、意見交換を行った。関西地区での開催ということで、関西地区のプロジェクト紹介、関西地区の専門工事会社若手経営者による PD などを企画し貴重な話を聞くことができた。 2. 建築生産セミナー：ゼネコン、発注者、設備専門企業などバリエーションに富む切り口からの海外プロジェクト事例報告を通じ、日本の建築技術の海外進出について有意義な意見交換ができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 出席率の極端に低い委員について検討中。 2. 催し物の企画・運営と並行して委員会内部での活動の充実を試行中。